

PICK UP EVENT

春のトワイライト庭園パーティー おりんコンサート版

2024年
4月27日(土) 18:30-20:00

料 金 4,000円/人 (ウェルカムドリンク付)
予 約 2024年4月20日(土) 12:00〆切
演 奏 村木悦子 (おりん奏者、セラピスト)



春の京都の魅力を存分に感じていただく特別な夜をご用意しました！静寂の中、ライトアップされた幻想的な春の庭園で青もみじを眺めながら、佐波理おりんの清らかな音色に耳を傾けてください。夜のお庭に溶け込むような村木悦子氏によるおりん演奏は、心やすらぐ非日常のひとつときを与えてくれることでしょう。お一人でゆっくりと、または大切な方と一緒に、歴史ある庭園で特別な春の夜をお過ごしください。



植彌加藤造園知財企画部 マイケルさんの 英語で日本庭園サロン

座学編 見学編 各日
6月16日(日) 6月23日(日) 14:00-15:30

料 金 座学編：4,000円 見学編：4,000円
予 約 座学編 2024年6月9日(日) 12:00〆切
見学編 2024年6月16日(日) 12:00〆切

講 師 植彌加藤造園株式会社知財企画部 マイケル・シャピロ

通訳ガイドさんや英語学習者は必見！英語ディスカッションで日本庭園の見方を学ぶ気軽なサロンを開催します。講師は無鄰菴指定管理者、植彌加藤造園で通訳翻訳を担当するマイケルさん。外国人目線の質問や、今さら聞けない疑問点などを英語でなかけてみましょう。座学編では日本庭園の歴史を一气におさらい。見学編ではお庭をめぐりながら、職人のお庭のお手入れ方法や東山のランドスケープと無鄰菴の関わり方の深さの理解を深めます。

〈無鄰菴とは〉



【造営】1896年 【施主】山縣有朋 作庭：七代目小川治兵衛
【特徴】東山を借景にした庭が至極美しい。
近代日本庭園の傑作。明治の京都、庭、南禅寺界隈の静けさを味わう絶好の場所。琵琶湖疏水のせせらぎを180度味わえる庭園カフェもオープン。
季節のイベント実施中！

- ・無鄰菴は南禅寺界隈別荘群の中でも最初にできた別荘庭園。
- ・東西に延びる敷地の西側に母屋・洋館・茶室があり、庭越しに東山の借景を望めます。
- ・琵琶湖疏水を活かした浅く躍動的な流れと、広々とした明るい芝生の空間が特徴。
- ・モミジ林にはこの上なく美しい苔のじゅうたんが広がります。

—無鄰菴の英語ガイド

毎月第2・第4水曜日に英語で無料の庭園ガイドを実施しています。開始時間は11:30～/12:30～、所要時間は約10分。予約不要。
ガイドを実施できない場合もあるため、無鄰菴管理事務所にお問合せください。

—Murin-an Explained in English

On every second and fourth Wednesday, we have free explanations of the garden in English. Start times are 11:30 and 12:30, and explanations take about ten minutes. No reservations required.
There are some days when we are not able to offer English explanations, so please inquire with the Murin-an Management Office if you are interested.

—人数限定入場について

- ・無鄰菴へのご来場は時間毎の入場制(事前予約優先)とさせていただきます。
- ・1時間ごと、毎時0分にご入場いただけます。滞在時間に制限はございません。
- ・当日お越しいただき、入場枠に空きがない場合はご入場いただけませんので事前のご予約をおすすめいたします。
- ・10分間無料ガイドが基本入場料に含まれます。

無鄰菴では、文化財である施設を今後も良い状態で保存・公開していくため、引き続き入場人数を限定した公開とさせていただきます。
何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

その他、行政などの指示により、臨時閉場とさせていただきます場合がございます。
開場状況につきましては、無鄰菴公式HPでご確認いただくか、施設にお問い合わせくださいませ。

—ご予約方法

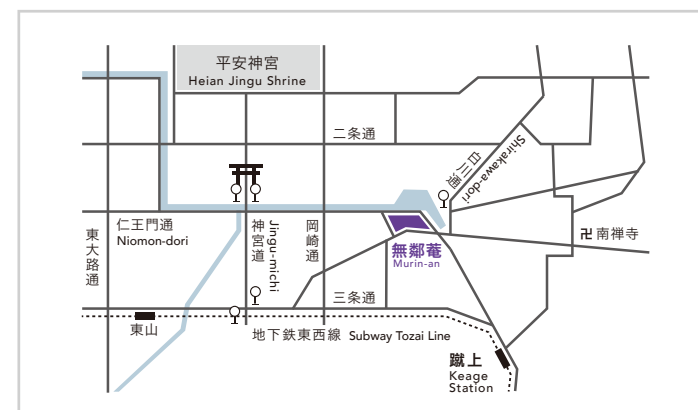
- ・無鄰菴公式サイトから受付中。「無鄰菴予約」で検索。
https://murin-an.jp/garden-reservation/
- ・インターネットをご利用にならない方は、お電話075-771-3909より受付しております。スムーズなお手続きのため、できるだけ公式サイトからお申込いただけますとありがたく存じます。

お電話 075-771-3909
無鄰菴管理事務所 Murin-an Administrative Office
〒606-8437 京都市左京区南禅寺草川町31番地
31Nanzenji Kusagawa-cho, Sakyo-ku, Kyoto 606-8437

庭園メンバーズ ニュースレター会員

毎月、庭園の情報をお知らせするニュースレターを配信。
限定イベントも。

登録受付中！ 入会費・年会費無料
参加施設 無鄰菴、岩倉具視幽棲旧宅、慶沢園、桐尾山 高山寺、三溪園
申込方法 無鄰菴管理事務所までお電話または無鄰菴ウェブサイトよりお申込。



—交通のご案内

- 京都市営地下鉄東西線「蹴上駅」から徒歩約7分
 - 京都市バス「神宮道」または「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩約10分
 - 京都市バス(京都岡崎ルート)「南禅寺・疏水記念館・動物園東門前」下車、徒歩 約4分
 - タクシーJR「京都駅」より約20分
- ※駐車場はございません

—開場時間 ※最終入場は、閉場時間の30分前まで。

| | |
|-------|------------|
| 4～9月 | 9:00～18:00 |
| 10～3月 | 9:00～17:00 |

—入場料

【繁忙日以外】 600円

| | |
|--------------|--|
| 【繁忙日】 A 900円 | 4月1～14, 27～30日 5月1～31日 9月28～30日 10月14～21日 11月1,2日 12月1～7日 3月29～31日 |
| B 1,100円 | 11月3～30日 |

※市内在住の70歳以上の方、障がい者手帳所持者、未就学児は無料
繁忙日料金制により、購入いただくタイミングにより上記から価格が変動する可能性があります。入場券をご購入いただく際は、最新価格をご確認の上、お買い求めください。

【条例に関するお問い合わせ窓口】京都市文化市民局文化財保護課 075-222-3130

【ご留意】

- ・施設保存のため、見学ルートはスタッフの案内に従ってください。
- ・場内での撮影については、事前の申請をお願いしております。
撮影をご希望の方は、管理事務所までお問い合わせくださいませ。

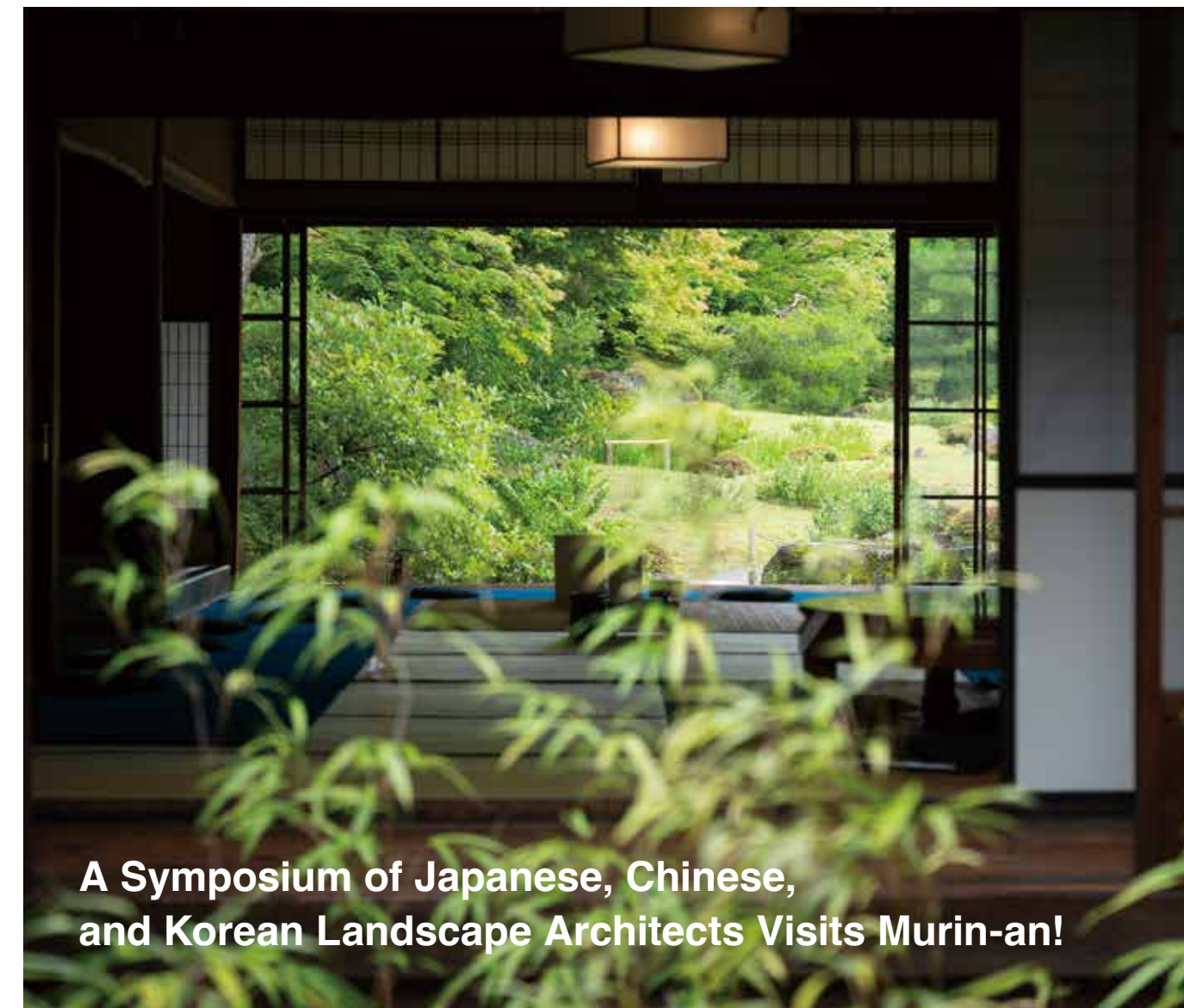
無鄰菴指定管理者 植彌 植彌加藤造園株式会社 Ueyakato Landscape
京都市 CITY OF KYOTO

庭に集い、庭をはぐくむ
無鄰菴

Murin-an's Seasonal Newsletter

2024 SPRING - SUMMER

さらさら通信



A Symposium of Japanese, Chinese, and Korean Landscape Architects Visits Murin-an!

文化財の保存に貢献する活用に、
無鄰菴はとりくみ続けます。

無鄰菴は、2016年度から文化財の保存に貢献する活用の取り組みを実施してきました。この取り組みでは、無鄰菴だけが持つ価値をわかりやすく伝え、もっと深く味わうために繰り返し訪れていただくことを目標にしています。
頻繁には足を運ぶことができない方々とも無鄰菴の日々の活動を共有したく、ここに「庭と庭園文化をはぐくむ」無鄰菴の取り組みをまとめました。
これからも無鄰菴は庭をはぐくみ、様々な体験イベントや市民の皆さまにご参加頂く提案型ボランティア制度(フォスタリング・フェロー制度)などを続けます。ぜひ繰り返し訪れて、無鄰菴をお楽しみください。また、すぐには足を運べないときも、無鄰菴を見守って頂ければ幸いです。

Murin-an continues to strive for garden activation
that contributes to cultural property preservation.

Since 2016, Murin-an has offered garden activation programs that contribute to cultural property preservation. These programs aim to communicate in easily understandable ways the value that only Murin-an has, so that people will visit again and again to enjoy Murin-an even more deeply.
But we also want to share Murin-an's daily activities with those unable to visit frequently. Hence, we here present Murin-an's efforts to nurture gardens and garden culture. Murin-an will continue nurturing its garden while also offering a wide-range of experience-based events and its volunteer program ("Fostering Fellows") incorporating suggestions and participation from the public. Please come and enjoy Murin-an again and again. And if you are unable to visit soon, we hope you will keep up with Murin-an even from afar.

無鄰菴指定管理者 植彌加藤造園

Murin-an Designated Manager, Ueyakato Landscape, Co. Ltd.

design: Masae Kobayashi

無鄰菴では、このほかにも様々なイベントを実施しています。
詳しくは無鄰菴WEBサイト、SNSをご確認ください！



夜間ライトアップ付き
プライベート利用
受付中
・時間：閉場後～22時まで
・料金：30万円税込
・申込：ご利用日の1ヵ月前まで

第18回 日中韓国際ランドスケープ専門家会議 見学会

The 18th International Landscape Architectural Symposium of Japan, China, and Korea visited Murin-an for an observational tour.



2023年11月10日（金）午後、第18回日中韓国際ランドスケープ専門家会議の見学会で26名のお客様が無鄰菴へお越しになりました。

日中韓国際ランドスケープ専門家会議とは、日本造園学会、中国風景園林学会、韓国造景学会の専門家が集う会議で、各国持ち回りで2年おきに開催されています。今回は「アジアから発信する次世代のランドスケープ-伝統と革新」というテーマのもと、11月10日から12日にかけて京都で行われました。

無鄰菴での見学会では、庭園の歴史的背景や見所だけでなく、中国・韓国の方へ日本の庭園管理技術をお伝えすることを目指し、庭師によるデモンストレーションを行いました。参加者の方々は10分間の庭園解説を聴いた後、3班に分かれて庭師デモの見学、庭園内の自由散策と呈茶の時間を楽しまれました。

当日はあいにくの雨模様。屋外で行う予定だった松

の「葉むしり」作業のデモンストレーションは、アカマツの切枝を用いて洋館内で行いました。「葉むしり」とは、手作業でマツの古葉をむしり取って樹木の姿をすっきりとさせる作業で、秋から冬（特に年末まで）にかけて行われます。当日の無鄰菴では、クロマツは全て葉むしりの作業が終わり、アカマツはまだ1本も着手していない状態でした。通訳のマイケルさんから「葉むしり」作業の簡単な説明の後、無鄰菴担当庭師の出口さんが幅50～60cm程度の切枝を用いてデモンストレーションを行いました。

葉むしりの作業では、葉をむしる手作業に入る前に、仕上りの透け感をイメージして不要な枝にハサミを入れます。複数の小枝が重なりあって重い印象だった枝は、ハサミを入れただけであっという間にすっきりしました。さらに手作業で葉をむしっていきませんが、もの数分で作業は終わります。あっという間に、ずっし

りしていた枝が軽やかに変わり、一部の参加者にとっては物足りないぐらいだったようです。中国、韓国からお1人ずつが、手作業で松の葉をむしる作業を体験されました。

参加者の方々からは、作業に要する時間や、他の樹種でも類似のお手入れを行うのか、という疑問、また流行による変化の有無等、多くのご質問をいただきました。韓国からお越しの方々は、韓国では風通しを良くするために樹木の枝を抜く作業はあるものの、葉むしりほどの繊細な作業はない、と驚かされていました。

各国の専門家の方々の視点でのご指摘やご質問は、東アジア文化圏における日本庭園の独自性を改めて認識する機会となり、私たちにとっても良い刺激となりました。

EVENT REPORT

山縣有朋公命日企画「山茶忌」

Tsubaki-ki: An Event for Remembering the Anniversary of Yamagata Aritomo's Death

2月1日は無鄰菴の施主・山縣有朋の命日。山縣は椿の花を好んだことから、彼の命日を「山茶忌（つばきき）」と呼び、毎年催しを行っています。

山茶忌では床の間に山縣の自筆掛軸を飾り、椿のしつらえの中、おりん奏者の村木悦子さんによるおりんのコンサートを味わっていただく趣向です。まず無鄰菴の学芸員が掛軸の内容を解説。山縣の感性に触れたあと、いよいよおりんの演奏が始まりました。

仏具のイメージが強いおりんですが、その音色に非常なこだわりをもって作られた南條工房さんの佐波理おりんは、澄んだ音色がたおやかにうねり、ゆらぎ、やがて空間にしみこむようにスーッと消えていきます。そのおりんを、音程のちがうものを時に重ね、時に一音を際立たせる村木さんの演奏は幽玄の心地。天の山縣もその目を閉じて聴き入ったことでしょう。

その後は南條工房さんの理想の音が生み出せたおりんと、理想に届かなかったおりんを叩いて聴き比べ。みなさん、納得の表情をされていました。つづいて直径2～3センチのおりんが配られ、村木さんと合奏。日頃なかなか触れることのないおりんにどっぷり浸かる1時間でした。

コンサートのあとは、山縣がその床の間の前から庭を眺めた8畳間に移動。特別に誂えられた椿のお菓子を味わいながら、おりんの余韻が漂う冬の庭を愛で、山縣有朋に思いを馳せていらっしゃいました。



February 1 is the anniversary of the death of Yamagata Aritomo, Murin-an's original owner. For this anniversary, Murin-an holds an annual event, which we call Tsubaki-ki ("Camellia Mourning") after Yamagata's love of camellia flowers (tsubaki).

First, Murin-an's curator explained a hanging scroll penned by Yamagata, which was displayed in Murin-an's tokonoma alcove alongside a camellia flower arrangement. Then there was an Orin (Buddhist bell) performance by Orin performer Etsuko Muraki. Muraki's ethereal performance brought out to the fullest degree the unique quality of Sahari Orin bells painstakingly created by Nanjo Kobo Foundry.

Next, guests enjoyed experiencing orin bells for themselves, holding the little bells in their hands and playing them in chorus. Afterwards, we moved to the main house's 8-tatami mat room, where Yamagata once gazed at his garden from. While tasting camellia sweets and cherishing the winter garden, our participants contemplated Yamagata Aritomo.